



IR HANDBOOK

第65期 第2四半期のご報告
2013.4.1▶2013.9.30

人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。貴金属関連事業（「貴金属事業」「環境事業」）を拡大・成長の牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、安定性と成長性を実現する企業づくりを行っています。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
73.9%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが貴金属事業のルーツです。銀の製造は金、白金の事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

半導体・電子部材や、貴金属地金・貴金属化成品の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界、半導体・電子部品業界を主要顧客としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

- めっき用化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
- 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社製の貴金属地金は世界の流通市場で品質が保証されています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルサービスを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
26.1%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取扱へと拡大しました。



事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

- ユーザーが最も使いやすい形態・ロットでフレキシブルに一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
- 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で差別化。
- すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー





代表取締役社長 松田 芳明

事業環境の変化が続くものの、持続的成長へ向けた取り組みを着実に展開していきます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2014年3月期第2四半期（2013年4月1日～2013年9月30日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2014年3月期第2四半期の業績と配当につきまして

当第2四半期においては、円高の是正に伴う輸出企業の業績改善や復興需要を含む公共投資の増加などから景気の回復傾向が見られたものの、円安による原材料価格上昇の影響や海外景気の下振れ懸念など、先行き不透明な状況が続きました。

こうしたなか、貴金属関連事業では金製品・銀製品の売上は減少したものの、白金族製品や電子材料の販売増加がこれを補ったほか、食品関連事業では、野菜など農産品の落ち込みを水産品・畜産品の販売増加がカバーしました。この結果、当社の2014年3月期第2四半期の連結業績は、売上高は前年同期比3.3%増の838億72百万円、営業利益は同33.2%増の24億8百万円、経常利益は同32.8%増の26億64百万円、四半期純利益は同30.3%増の17億36百万円となりました。このような業績を受け、第2四半期末配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり12円といたしました。2014年3月期の期末配当も12円とし、年間配当金は、前期と同額の24円とする予定です。

2014年3月期4月～10月 ハイライト

貴金属関連事業

- 2013年10月 入間地区に新工場を建設、試運転開始
ベトナム現地法人の設立準備を開始

食品関連事業

- 2013年 7月 松山営業所を開設

その他経営関連

- 2013年6月～2013年10月(複数回) 自己株式の取得を実施

事業環境が変化するなか、成長戦略を着実に展開します

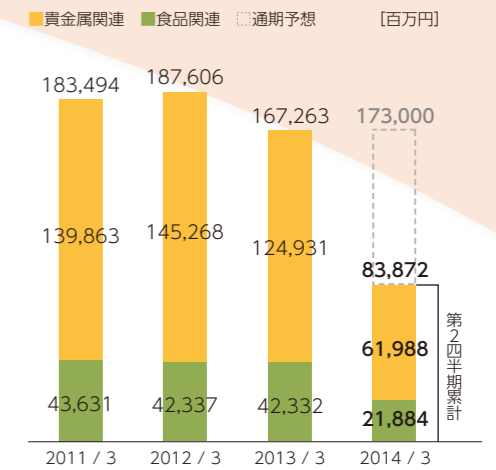
足下では東南アジア等新興国の景気下振れ懸念が強まるなど事業環境が変化していますが、貴金属関連事業では今後も「東アジアNo.1のリファイナー」を目指し、海外・国内の拠点の拡充に積極的に取り組み、顧客サービスの向上・強化に努めてまいります。その一環としてベトナムでは現地法人の設立を準備中であり、今後の顧客企業の進出に合わせ、製錬工場の建設を視野に入れております。また、国内でも主力工場設備のリニューアルを進めています。入間地区では本年10月に新たな工場を設立し、試運転を開始しました。環境事業においても、関西地区の物流強化へ向けて新たに大阪市に物流拠点を設置し、営業を開始しました。

食品関連事業でも海外拠点の強化を進めるとともに、安全・安心・高品質な食品原料供給による差別化を図り、変化する需要業界のニーズに対応した販売の拡大に取り組んでまいります。昨年6月に中国・青島に設立した現地法人では順調に事業を展開しているほか（詳細はP5Topics参照）、本年1月に設立したタイ現地法人でも同様の取り組みを進め、グローバルネットワークの強化を加速しています。

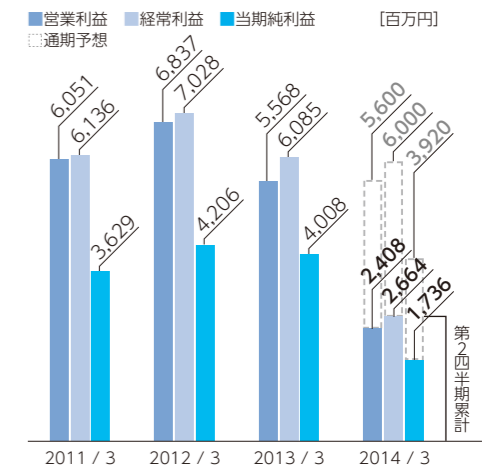
今後も貴金属関連事業を成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、当社ならではの強みを発揮し、持続的成長を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

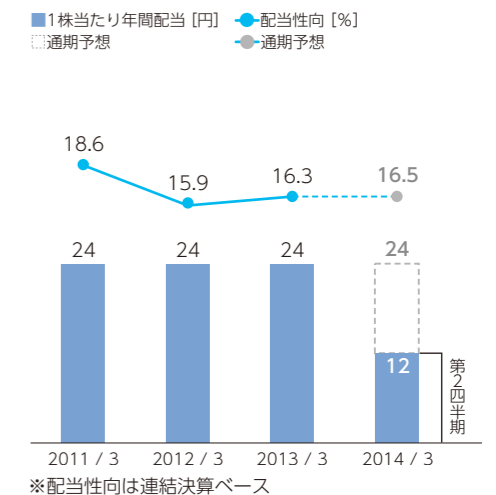
売上高



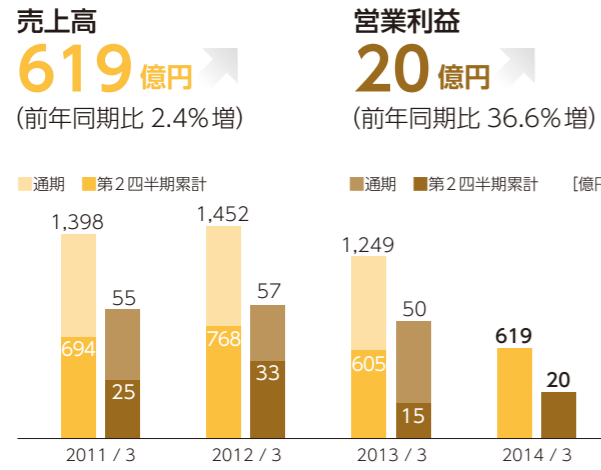
営業利益／経常利益／当期純利益



1株当たり年間配当／配当性向



貴金属関連事業



2014年3月期第2四半期の業績

貴金属部門では、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況に二極化の傾向が見られるなかで、金製品、銀製品の売上高は前年同期を下回りましたが、白金族製品および電子材料の販売増加により、全体としての売上高は前年同期に比べ増加しました。環境部門では、産業廃棄物の取扱量は増加しましたが、写真感材回収による銀の数量が減少し価格も下落したことから、売上高は減少しました。

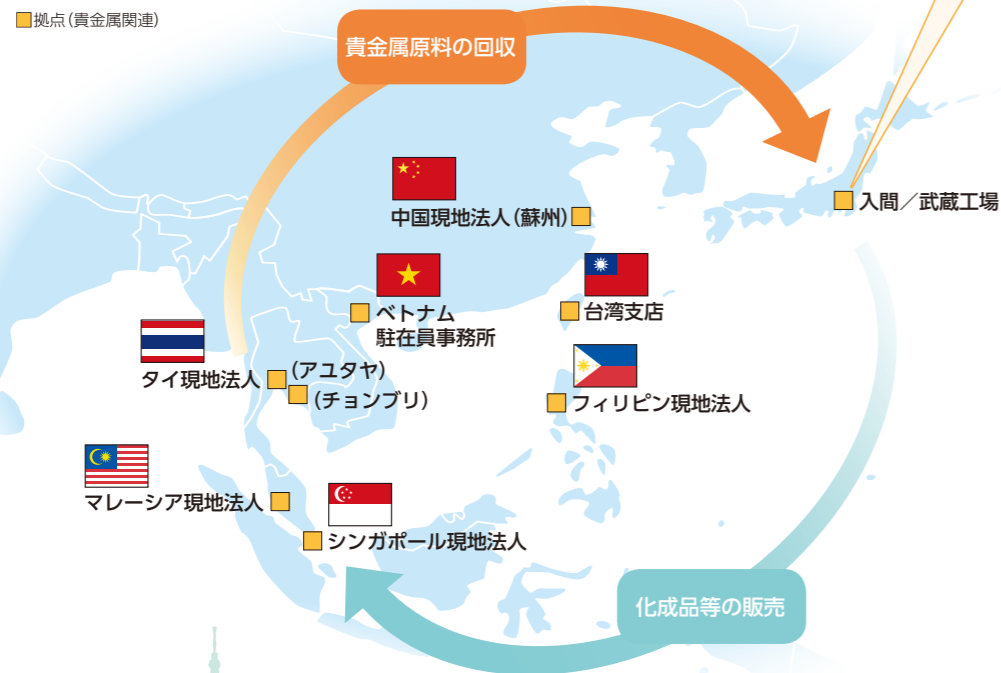
通期の見通しと施策

半導体・電子部品業界では緩やかな回復が期待されており、貴金属原料の回収量も徐々に増加することが期待されています。外部環境は変化していますが、引き続き「海外拠点の強化」「国内拠点の増強・効率化」「製品・技術の開発」に取り組んでいます。

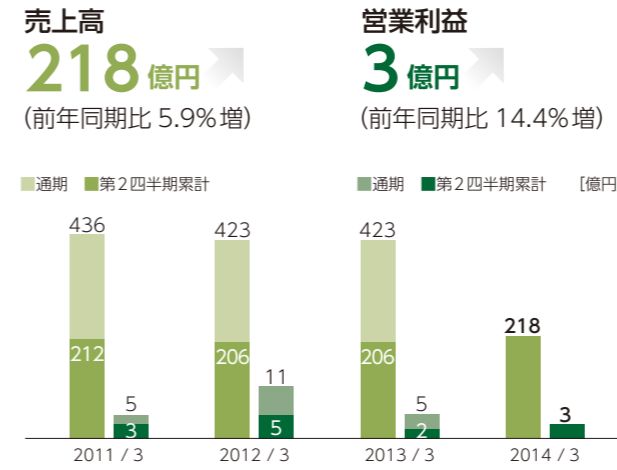
貴金属関連事業 東アジアネットワーク

製造拠点に新工場が完成!

貴金属関連事業の主力拠点が集積している入間地区では、今後のさらなる事業発展に備えるためのリニューアルを進めています。武蔵工場の隣の土地に設置した新工場には工程の一部が移管され、多様な貴金属原料の処理を従来の設備に比べ、より高い効率と生産性で実現していきます。工事は本年10月に完了し、現在、2014年1月からの本格稼働へ向けて試運転を行っています。



食品関連事業



2014年3月期第2四半期の業績

消費者の低価格志向が固定化しているなかで、円安の影響等により原価が上昇するという厳しい事業環境が続いています。このような状況のもと、野菜などの農産品は販売数量が前年同期を下回り売上高が減少した一方、水産品および畜産品の販売数量増加が寄与し、売上高は増加しました。

通期の見通しと施策

国内景況感の改善を背景に需要拡大が期待されるなか、海外現地での調達や品質保証機能の強化、新規販売先の拡大に注力し、グローバルな調達・販売ネットワークの強化に取り組みます。

食品関連事業の拠点と主な調達先

松田商貿(青島)有限公司が本格展開中!

昨年6月に設立した松田商貿(青島)有限公司が、営業活動を本格展開中です。現地に進出している日系食品会社を中心とするお客様へ、主に中国産の水産品、農産品、畜産品、調味料等を販売しています。お客様が要望する食材を独自の情報力とネットワークにより、迅速かつ的確に調達するほか、厳しい品質管理の上、安全・安心な食材を提供しています。こうした取り組みがお客様に評価され、信頼できるパートナーとして、厚いご支持をいただいています。



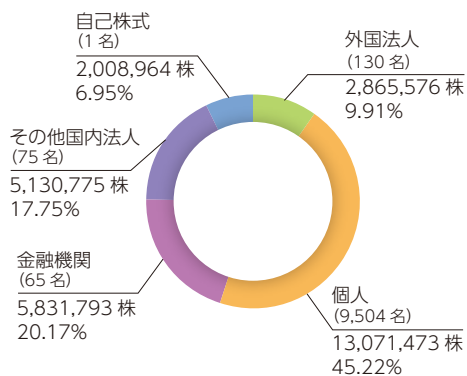
会社概要 (2013年9月30日 現在)

商号	松田産業株式会社	従業員数(連結)	964名
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2	主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
設立年月日	1951年6月18日	会計監査人	新日本有限責任監査法人
資本金	3,559百万円		

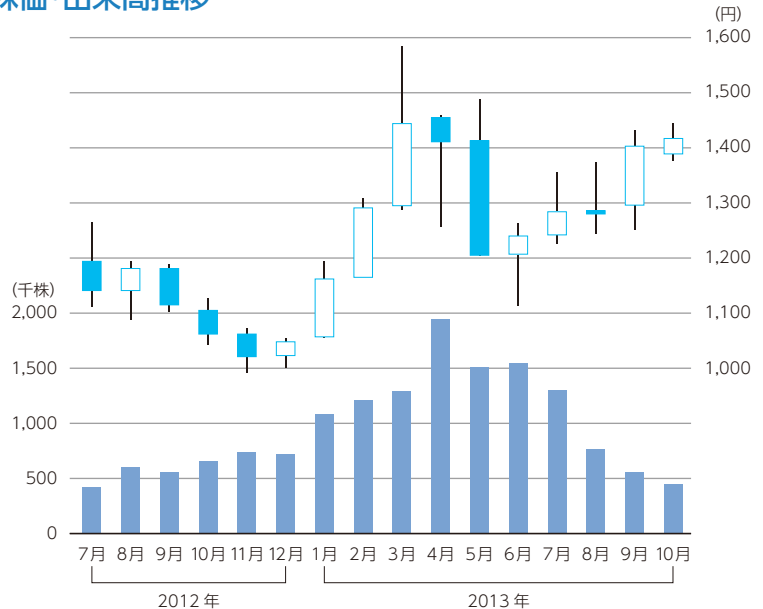
株式の状況 (2013年9月30日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	9,775名

所有者別分布状況 (2013年9月30日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

